

おはなし会

事業名	日時	参加人数
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕(図書館ボランティア協力)	2/1(木)	111人 対象児 28人

閲覧室内企画展示〔2月下旬～〕

テーマ	資料内容・企画意図
子ども読書の日 「いい本でいい時間」	4月23日の「子ども読書の日」に向け、進んで手に取られないが、読めばおもしろい本、子どもの心の成長を促す良書を100冊選んで、リスト配布と本の展示を行う。
いろいろな色	「色」という身近なテーマをきっかけとして、読書の幅を広げる一助をめざす。視覚的にも楽しく親しみやすい展示で80冊を紹介。
猫	2月22日の「猫の日」にあわせて、猫に関する資料を、動物、ペット、写真、文学など幅広いジャンルから80冊。
ぴかぴかのスタート応援します	入園、入学、就職などの新しい生活が始まる人に向け、入園入学準備、お弁当、子育て論、人間関係、勇気の出る小説など新しい生活が始まる人を応援する本40冊。
追悼 いしむね りんご さん 石牟礼道子さん	詩人作家。水俣病について書いた「苦海浄土」始め著作集や関連資料を展示。

その他

事業名	日時	備考
平成29年度 図書館講座 「ブックスタート」ってどんなこと？	1/31(水) 13:00～14:30 2階 AVルーム	ブックスタート事業のボランティア募集に先立ち「ブックスタート」の意義や活動内容を知るための講座。参加者18名
蔵書点検(特別整理期間)	2/2(金)～2/16(金)	図書館の所蔵資料を点検・整理。閉架行き本・除籍本の選定、入力変更、書架整理、棚移動、約15万冊をスキャン突合、リサイクル市の準備等を行った。
ワークショップ(2回目)	2/3(土)	第2次子ども読書活動推進計画策定のための第2回目ワークショップ (合計2回開催)参加者16名
第3回長久手市中央図書館管理運営検討委員会	2/7(水)〔非公開〕 17時から	中央図書館の管理運営形態について
第2次長久手市子ども読書活動推進計画 第2回策定委員会	2/13(火) 10:00～11:45	計画書の記述内容についての意見聴取
中央図書館リサイクル市	2/18(日)～2/25(日) 休館日除く	図書館で除籍した本や寄贈されたが蔵書にはならなかった本を市民等に譲渡。
第2回長久手市中央図書館運営協議会	2/20(火)15:00～	管理運営検討委員会からの答申、第2次長久手市子ども読書活動推進計画案の提出、他事業報告等。

3月の予定

おはなし会

事業名	日時
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕(図書館ボランティア協力)	3/1(木)
大人のおはなし会〔読書会〕(吾亦紅)	3/6(火)
おはなし会〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	3/10(土)
乳幼児向けおはなし会(図書館ボランティア)	3/15(木)
おはなし会〔幼児から低学年〕(図書館ボランティア)	3/17(土)
ブックスタートおはなし会(図書館ボランティア協力)	3/17(土)
小学生向けおはなし会(ストーリーテリング学校連携)	3/23(金)
えいごのおはなし会(レディバグ)	3/24(土)

閲覧室内企画展示は、2月下旬からの内容を継続

平成29年度 中央図書館 目標管理(事業計画)

	課題・問題点	目 標	実施項目	進捗状況	年間スケジュール												備 考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	児童館の古い本の入れ替えが済んでいない	最大4館を入れ替え	1.現場での除籍本調査・選定(長久手西) 2.新しい本の配置(上郷、長久手西) 3.整備済みの2館へ本の貸出を実施(下山、長久手南)	上郷児童館への団体貸出が完了し、約500冊の図書を配本整備。 長久手南児童館には、やや高学年向けの本を試験的に配置。 長久手西児童館では、司書による現地状況調査を踏まえ、約750冊を除籍。新しい配架レイアウトに改変。 選書・表示類の準備終了。													
2	中高生の読者層が少ない	中高生への貸出冊数を前年度比2%(約370冊)増(前年度18,582冊)	1.中央図書館司書と学校連携司書で400冊本を選らぶ。 2.PR目的の展示・告知コーナーを設け、わかりやすい図書リスト等を掲示。 3.図書館HPIに、専用ページを設け、毎月更新。	本の調査選定では、第1期分223冊、第2期分200冊、第3期分55冊を選定。 図書展示は、「部活」、「図書館的進路相談室」などのテーマ別や新ラインナップの面出しで展開。 配架数は当初の400冊から1000冊に。 市内高校2校の図書室紹介コーナーを新設。													
3	不明本の発生がある	年間の不明本冊数を前年度比3割(約90冊)減らす。(前年度310冊)	1.不明化傾向分析に基づく配置換え。 2.本にマーキング	不明化傾向のあった旅行書はカウンター前への特別配置を継続。 不明化傾向のあった特定週刊誌は、館所蔵スタンプの効果を認め、継続。 不明原因の一端である利用者が返すところがわからなくなった本を戻す小型書棚を配置。利用実績あり。													
4	延滞本が減らない	30日以上延滞者を3割減らす。(前年同月比)	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更(4月～6月試行)。ハガキを郵送もしくはメールで連絡。	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更し、運用している。 貸出レシートでの返却期限遵守呼びかけを継続。 予約本への督促通知頻度を月1回から週1回に高めた。													